

地域で「よみ・かき・ことば」をともに学ぶために ～大阪府識字・日本語学習シンポジウム～

大阪府教育庁 市町村教育室 地域教育振興課 社会教育グループ

文字を「よみ」「かき」、「ことば」を学び使うことは、すべての人にとって大切な権利です。大阪府内には200を超える識字・日本語教室があり、子どもの頃に十分に学ぶことができなかった人や、外国から来て日本に住むようになった人などが学んでいます。こうした教室の運営や学習者の支援等について、市町村における実践事例を紹介するとともに、2人の講師にご講演いただき、地域における識字・日本語学習活動について、ともに考え、さらなる充実を図る機会とします。

実践紹介

【文部科学省「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」参画市による報告】

○池田市 ○吹田市 ○茨木市

講演

大阪府における識字・日本語学習 ～「これまで」と「これから」～

【講師】 大阪教育大学 名誉教授 森 実

大阪産業大学 教授 新矢 麻紀子

- ・大阪府の各市町村の識字・日本語学習の取組みを聞き、教職員として、児童生徒とその家族につなげていくための知識を学ぶことができました。
- ・校内での日本語教室と地域の日本語教室との連携の重要性が示されました。社会教育のことを知り、今後の学校としての立ち位置のヒントをいただきました。